



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	株式会社橋本HD新社屋レジリエンス強化型ZEB化事業	BEE	3.3	BEEランク	S	★★★★★
------	----------------------------	-----	-----	--------	---	-------

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	4.5 /5		よい
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.7 /5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.7 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.4 /5		ふつう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上 ふつう 3点以上 がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)	得点	4.5
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①ダホライソシアヌレートフォーム+ロックウールによる外皮性能の向上 ②トップライトの採用。 ④配管や設備機器は耐久性に考慮し更新間隔を広げた。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2 ⑥	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦外壁:ポリイソシアヌレートフォーム+ロックウール、屋根:CLT+コンクリートスラブにより外皮性能を向上し熱負荷抑制 ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ⑩BEMSの導入によるエネルギー管理。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水便器、自動水栓により節水対策を施した。 ⑫持続可能な県産材によるCLTの採用。 ⑬有害物質を含まない仕上材の採用。 ⑬断熱材、冷媒は環境負荷の少ないものを採用した。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2 ⑮	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)	得点	3.7
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰災害時の避難施設とする為、機械、配管支持方法はSクラス	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑰ 2.1.2 ⑰ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑰ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)	得点	2.7
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高や空間にゆとりを持たせ、快適な執務空間とした。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ ⑳	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1 ⑲	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)	得点	3.4
■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2 ⑳	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ景観への配慮 ㉒ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/㉓温熱環境悪化の改善) ㉓国産材の使用比率が100%。	LR-2 2 2.5 ⑲ LR-3 2 2.2 ⑲	⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ㉓ 温熱環境悪化の改善